

平成29年度予算編成方針

本市の財政は依然として厳しい環境にあり、平成27年度は黒字決算となったものの経常収支比率は他の中核市と比較しても極めて高く、硬直した財政状況からいまだ抜け出せていない。

こうした状況のもとで、人口減少の克服をはじめとする諸課題にスピード感をもって対処し、若い世代や子どもたちが希望と夢をもち、市民がいつまでも安心して暮らせるまちづくり、そして、たくさんの人が訪れる魅力あるまちづくりを進めるため、平成29年度予算編成は、次に掲げる基本方針に沿って全職員一丸となって取り組むものとする。

基本方針

〈1〉

成果目標を設定し行政評価の構築を見据えた予算編成

施策の目的と得るべき成果を常に意識して目標指標を定め、行政評価の構築を見据えた予算編成を行うとともに、本市の魅力や付加価値をさらに高めるための施策の効果検証と改善を絶え間なく行い、実効的なPDCAサイクルの構築を図る。

基本方針

〈2〉

財政構造改革に向けた大胆な施策のスクラップ

人件費の適正化を進めるとともに、全ての施策をフルコストの観点から見直し、限られた財源を最大限有効に活用するため、優先順位を洗い直して思い切った事業の廃止や組替え、事業手法の転換を進め、真にメリハリの効いた予算を編成し、財政構造の改革を一気に進める。

基本方針

〈3〉

的確な事業計画に基づく未来につながる政策のビルド

本市の強みや弱みを明確に意識した競争力のある政策を実行するために、あらゆる分野のデータを徹底的に分析し、根拠をもって事業計画を立てるとともに、奈良の未来につながる政策にヒト・モノ・カネを重点的に投入し、集中的かつ効果的に推進する。